消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1.　事故・ヒヤリハットの別	事故
2.　体験した事例の名称	夜間における車止めチェーンによる転倒事故。
3.　体験した事例の中心的要素	他の救急事案からの帰署途上に、自殺をほのめかす119番通報により、出場指令がありました。携帯電話での本人通報で、風貌・場所が不明確と追加情報がありました。指令場所付近にて、傷病者と思われる人を発見し、接触しようとしたところ、傷病者が向きを変え駐車場内に入って行きました。それを追いかけるため、駐車場に入ろうとした際、傷病者に気を取られ進入を防止する高さ40cm程度のチェーンに気が付かず接触し転倒してしまいました。転倒した際、左手に携帯電話、右手にクリップボードを持っていたため、手をつくことができず、肘から地面に倒れてしまいました。
4.　体験した事例の原因・理由	自殺をほのめかす119番通報であったため、見失うと自殺行為に至ってしまう可能性があるという焦りがあった。傷病者は、車止めの隙間から、普通に歩行して駐車場に入ったため、チェーンが無いという思い込みがあった。通信員と携帯電話にて、話をしていたため、周囲の関心が薄れていた。現場は、薄暗かったが、灯光器等の照明機材を使用していなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

1.　体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。

【体験した事例について】

1.　発生日時	平成26年11月24日　午後9時頃
2.　発生した当時の天候	晴れ
3.　発生した活動現場	屋外：駐車場の出入口
4.　体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5.　事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6.　どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒
7.　事例体験時の活動	救急現場活動初期
8.　（7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：傷病者との接触時
9.　同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者A	年齢[46]歳、勤続年数[29]年、現場経験年数[29] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○その他（当事者が4人以上の場合）	

11. 事例発生の経過。

	誰が（何が）	なにをした	その他・備考など
経過1	傷病者	自殺をほのめかす119番通報をした。	
経過2	A	別事案の帰署途上中に、当該指令をうけ、出動した。	
経過3	A	現場に到着し、傷病者らしき人を発見した。	
経過4	A	傷病者が、駐車場内へ移動したため、見失ってはいけないと思い、後を追った。	
経過5	A	車止めに気付かず、転倒したが、その後も通常どおり活動を続けた。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。 集中力、注意力がなかった。 個人装備が不適切だった。 足元の安全が確保できていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

l. その他の理由があった。

【事故発生後の取り組みについて】 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

〇注意力欠如、焦り等の対策について

・警防活動時における安全管理マニュアルの再徹底及び、危険予知訓練を実施しました。
・障害物があることに対して隊員間での注意喚起をより強化する事を徹底しました。

〇装備・資機材の対策について

・薄暮時や夜間、見通しの効かない場合には、灯光器等の照明機材を携行する事を徹底しました。また、状況が視認しにくい場合は、安全対策を図る事を徹底しました。

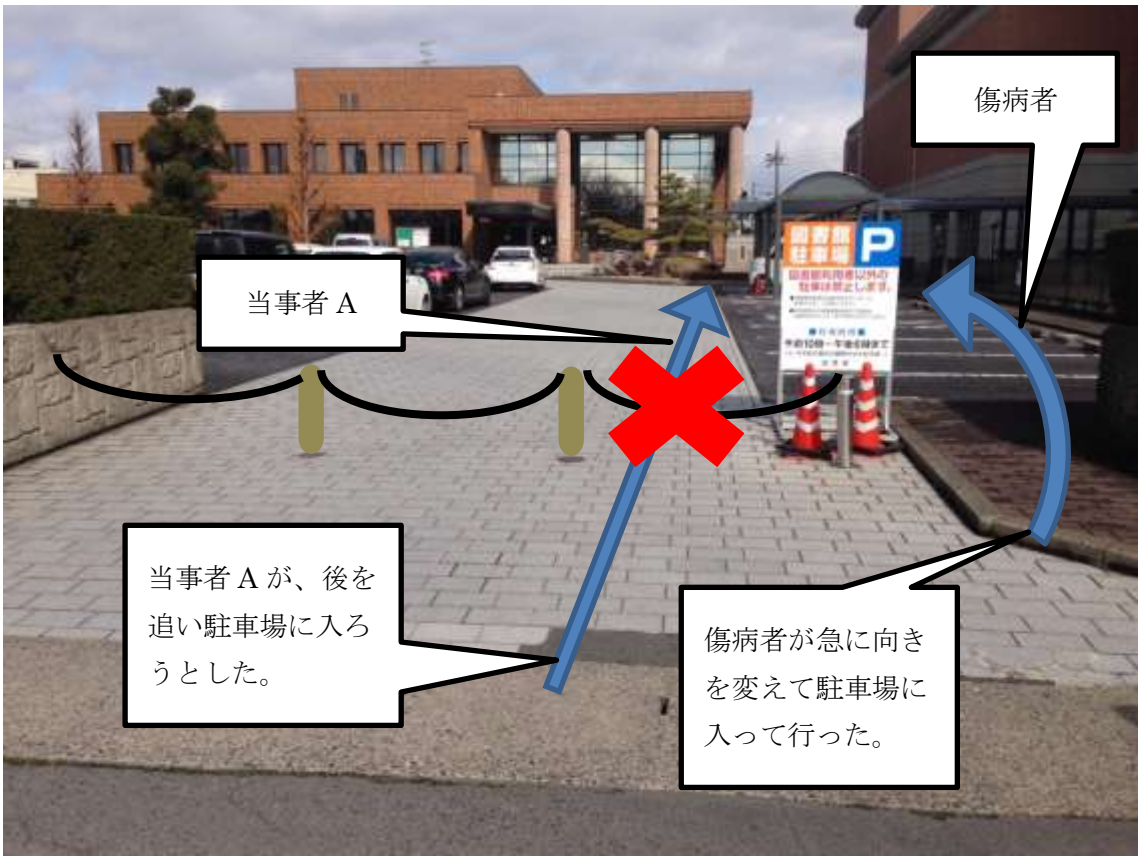
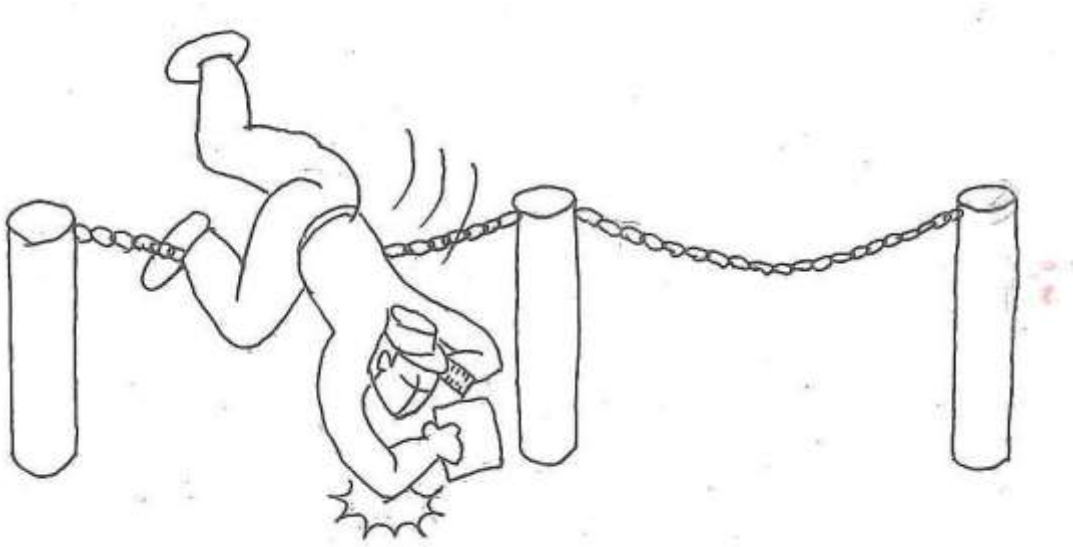
〇活動環境の対策について

・特にありません。

〇指揮・情報伝達の対策について

・特にありません。

事故現場の状況



転倒時の状況